

支援企業様より応援メッセージ

福井県の子どもたちを応援しています。

たかさわ内科クリニック



院長
高澤 洋介 様
当センターへのご支援 2020年～

お仕事内容
病気の診察



コロナ禍でも
ワクワクを忘れずに！

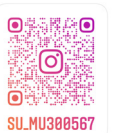
新しいことに挑戦するのはドキドキするけど、ワクワクもついできます。私たちも日々新しいこと、楽しいことに挑戦しています。この前は、和菓子屋さんと一緒に糖尿病の人でも安心して食べられるようなカステラを作りました！コロナでたくさんの制限があり、マスクがユニフォームになっていますが、みんなが毎日を元気に過ごせるように、クリニックの中から応援しています。

sumu



加藤 紀子 様
当センターへのご支援 2017年～

お仕事内容
カフェ / レンタルスペース
(URL) <https://fukui-kimamori.com>



街の力で、子ども達に
たくさんの居場所を！

このカフェの3Fで中高生劇団の練習が始まりました。突然響く発声練習の声に1Fのカフェのお客さんが何事かと驚かれることもありましたが、スタッフの説明で皆さん協力的に微笑んでくださいます。街の中に子ども達の居場所がいっぱいあって、それが自然な姿だと思える大人がいっぱいいいます。駅前がそんな街の力・包容力を持つことを願っています。

認定NPO法人 **福井県子どもNPOセンター** にご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。	●個人 一口年額 / 5,000円 ●団体(法人) 一口年額 / 10,000円	入会方法 郵便振替の通信欄に、 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④会員の種類(左記ABCいずれか) ⑤口数 を記入してお振込みください。 郵便振替 00770-1-45546 福井県子どもNPOセンター
B. ボランティア会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。	●個人 一口年額 / 1,000円	
C. 一般寄付も受け付けています ●郵便振替での寄付		

●オンラインでの寄付  **つながる募金** HPから簡単に子どもNPOセンターに寄付ができます。ソフトバンクが提供する「つながる募金」の寄付サービスを利用開始しました。ぜひともご支援を宜しくお願い致します。

●税制上の優遇措置について
「認定特定非営利活動法人」へのご寄付や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。ぜひご利用ください。

●個人のご寄付
【所得税】(寄付金の合計額－2,000円)×40%が税額控除されます。【上原・所得税額の25%】
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄付した場合、寄付をした財産には相続税が課税されません。

●法人のご寄付(法人税)
一般寄付金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。また、国税庁のウェブサイトでも手続きの詳細が掲載されています。

インフォメーション・クリップ

福井県子どもNPOセンター Information Clip

「楽しい!あそび」をレンタルしませんか?

保育園、幼稚園、児童クラブ、地域のお祭りはもちろんご自宅でも遊んでみませんか。高校の文化祭でも使っていました。

●スマートボール ●空き缶つりばり
●巨大ジェンガ ●血回し
●千本引き ●巨大だるまおとしなど

あそべるおっきなハンカチ
1枚1,000円

ハンカチを購入してチャイルドラインにご支援ください!

ハンカチ代の一部はふくいチャイルドラインに寄付されます。

Hop on Hop off

「あいさつ」って短けれどとても大切だと思います。“こんにちば”、“いただきます”に“ごちそうさま”、“いただきます”に“いってらっしゃい”等々。21歳の息子が「俺、ありがとう」と“ごめんない”はちゃんと言えるで!!と最近エラく自慢げに話していたんか嬉しかった♡(ちーりー)

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人 **福井県子どもNPOセンター**

〒918-8106 福井市木田町36-1
コーボ木田201号
TEL.0776-97-8460
FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp

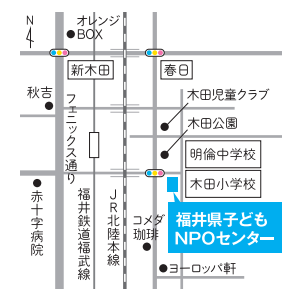
LINE  Youtube  Facebook  Twitter 

企画・編集 / 福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン・Neu

広告企業

				六●感デザイン KOKAN DESIGN
		さわやか矯正歯科クリニック		
				
大月産婦人科クリニック	春日装備 株式会社	つちだ小児科		
光タクシー 有限会社		医療法人 まきレディースクリニック		

ホームページ 



Take Free [無料]

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌。

バックナンバーは  はこちらから

こどもChannel

チャンネル

2022 70号

発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: <http://childnpo.com>

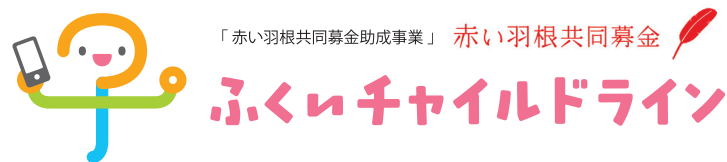
自由な遊び、自由な時間

「遊んでばかりいないで勉強しなさい!」これは、私が子どもだった頃に見たアニメや漫画によく出てくるフレーズです。子どもは「遊んでばかり」ができていたのでしょいか。私の専門、建築学の分野では、子どもの「遊び環境が悪化した」「遊びが劣化した」と言われ始めてからもう40年。建築?と思われれる方多いと思いますが、子どもの遊び環境の悪化は、家庭・家族の変化や学力偏重主義などの社会・教育意識の変化だけでなく、高度経済成長期以降の急激な都市構造の変化による影響も大きいのです。2017年、福井市の小学校9校を対象に行った調査では、平日の放課後に「遊ばない」と回答した子どもの割合が実に18%にも上りました。約2割の子どもの放課後に遊んでいない(あるいはその実感が無い)のが現状です。

「遊び」と一言で言っても、その意味は多岐に渡ります。鬼ごつこのような遊戯そのものだけでなく、芸術・文化や酒、賭博、女遊びもその中に含まれます。しかし、最も重視すべき意味は、「余裕」や「気持ちのゆとり」です。ハンドルや歯車の部材間に適切な「遊び」の部分があることで操作がうまくいくように、人間にとっても「遊び」つまり「余裕」の部分を持つことは、その人のその人らしい豊かな人生を送るために必要不可欠です。つまり、自分で自由にできる部分があることが「遊び」とも言えるのです。子どもは、遊びの中で仮説と実験、検証を繰り返しながら自分の自由の範囲を広げていきます。それは自分の興味の範囲や能力、他者との距離感など、社会適応能力を高めていく行為でもあります。もちろん、その過程には失敗すること含まれ、むしろ失敗すること、自分が今、自由にできるのはこの範囲なんだと実感できるのです。

我が子の学校生活や放課後の過ごし方を見ても、現代の子どもにこの「自由にできる」部分がなくなっていることを実感します。子どもは、良くも悪くも置かれた環境に上手く適応します。放課後は塾や習い事に追われ、大人から課せられる厳しいルールの中での生活。息苦しく余裕のない社会の中で唯一自由にできる隙間時間には、ゲームを手取り早く使い、満足感を得ます。しかし、日常生活に支障をきたすほどの行為に振り回されるのは「遊び」とは呼べません。酒や博打にハマり、日常生活を捨てる行為は自分の自由の範囲にはないのです。そういう意味では、現代の子どもたちがどのくらい豊かな遊び環境の中で育ち、自由に自分らしく過ごせているのか、私たち大人がしっかりと子どもの声に耳を傾け、評価し、見つめ直す必要があります。子どもだけでなく大人も「余裕」遊びを失っている現代、できれば、「子どもも大人も勉強(仕事)ばっかりしていないで外で遊んできなさい!!」と声を大にして言いたいものです。

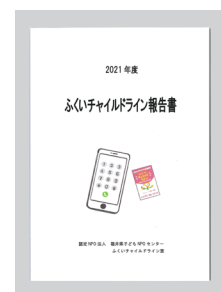
栗原 知子
福井大学 国際地域学部 准教授
認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター 理事



ふくいチャイルドライン養成講座

2022年度 開催中！

今年度は9月から11月の間で、3日間の講座を企画しました。一般公開講座では、①大人が学ぶ「性と生」(9/4終了) ②手をつかって考える子どもとあそび(10/2) ③子どもの育ちを喜びに(11/6)と題してご講演いただきます。また、養成講座では、福井県内でいろんな角度から子どもたちと向き合い活動されている講師をお招きしています。皆さんの身近で、「あ、子どもたちのこんな活動があるんだ！子どもたちにこんな風に関わるっていいんだ！」というちょっとした気づきにつながると思います。チャイルドラインの活動を通じて、子どもたちの「いま」を見つめ社会に発信していくこと、そして子どもたちに寄り添い、子どもたちと一緒に考える仲間を増やしていくことが、ふくいチャイルドラインとしての大きな役割であり、大きな目的でもあります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



子どもたちの「いま」を
一緒に考えよう

2021年度報告書ができました。
電話のデータ分析など掲載されており、
その年の子どもの状況を知ることができます。[1冊 500円]

ふくいチャイルドライン
室長 岡田伊佐央

こどもChannel

日時	内容	講師
9月4日(日)	10:00～12:00 公開講座 大人が学ぶ「性と生」～子どもが自分らしく生きるために～	東みすゑ氏 障がい児・者の「性」を学ぶ会《ゆいの会》代表
	13:00～15:00 心のエッセンス～自分を知り、聴く力を高めよう～	林博美氏 公認心理士
	15:00～17:00 子どものSNSのトラブルについて現状と対策	前川智裕氏 福井県警察本部サイバー犯罪対策担当課長補佐 警部 平井俊幸氏 福井県警察本部サイバー犯罪対策係長 警部補
会場：福井県社会福祉センター4F 第1、2研修室		
10月2日(日)	10:00～12:00 公開講座 手をつかって考える子どもとあそび	堀真一郎氏 学校法人きのくに子どもの村学園理事・学園長
	13:00～15:00 子どもの権利条約は人間力を育む礎～全ての人が学び・理解したい～	伊藤洋子氏 元東海大学教授
	15:00～17:00 子ども、若者に居場所と人とのつながりを～福井県における子どもシェルターと自立援助ホームの役割について～	下田真記氏 一般社団法人 ラシース自立援助ホーム長
会場：福井県社会福祉センター4F 第1、2研修室		
11月6日(日)	10:00～12:00 公開講座 子どもの育ちを喜びに～成長サインを見抜く方法教えます！～	館直宏氏 NPO法人おっとふぁーぎー代表理事
	13:00～15:00 ロールプレイ演習 聴く力は愛する力	向井清和氏 教育カウンセラー
	15:00～17:00 ガイダンス ふくいチャイルドラインについて	理事長 谷内由美子 室長 岡田伊佐央
会場：福井県立大学交流センター3F 多目的ホール		



子どもフェスティバル 2022

「赤い羽根共同募金助成事業」 赤い羽根共同募金

ふれいばーく「イチ」開催！

今年度から開催する“ふれいばーく「イチ」”。何のための「イチ」なのか？ここには2つの意味が込められています。1つ目は、「1(イチ)」種類の道具を使えば、様々な遊びに広げることができるという楽しさに出逢ってほしい。2つ目は、様々な遊びの中から自分にとって「イチ」番の遊びを見つけてほしい。子どもたちにとって、日常の中の遊び



畑 空吾

遊びに出逢ふべし！
一緒に出逢おう！

「赤い羽根共同募金助成事業」 赤い羽根共同募金

大人が学びあう講座 2022

子どもの育ちに大切な地域の力を考える

●9/30(金) 19:30～21:30

オンライン Zoom 配信

講師：高橋利道氏
フリーランスブレイリーリーダー /
ブレイ・コミュニティワーカー



手をつかって考える子どもとあそび

●10/2(日) 10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター4階 第1、2研修室

オンライン Zoom 配信

講師：堀真一郎氏
学校法人きのくに子どもの村学園理事長 / 学園長



子どもの自由な遊びと学び

福井県子どもNPOセンターの2022年の必要な取り組み「子どもの体験がその後も自宅や地域で活かされる知識につながる」ということを念頭に3つのテーマ「子どもの主体性を考える」「子どもの近くに潜む危険」「サードプレイスとしての遊び場」を決めました。そして子どもの自由な遊びを実践しているきのくに子どもの村学園の堀真一郎氏、子どもフェスティバル2022「プレイパーク」にも関連する講師としてブレイリーリーダーの高橋利道氏にお願いすることになりました。テーマも「子どもの自由な遊びと学び」とし、子どもの笑顔はじける遊び場・教育の場のつくり方についてお話をいただきます。「自分のままでいいんだよ」一人ひとりの個性を大切に活動するとはどういうことか一緒に考えませんか。



「自分のままでいいんだよ」を
一緒に考えよう！

榎家彩子

表現ひろば

2022



劇団【プラム】活動開始！

3年のブランクを経て、遂に「劇団」の形態で演劇活動を再開！団員の「より主体的な活動」を狙い、対象学年を中学生に上げました。参加者8名、入団式はすぐに打ち解け、何事も皆で話し合って決めるという方針を共有しました。皆で取り組む最初の大仕事「劇団名を決める」そして更なる大仕事「脚本を決める」。それぞれが持ち寄った案をプレゼンし合い、更に皆で熟考します。皆が、自分の考えをしっかりと持ちつつ周囲の意見にも耳を傾け認め合う姿勢には驚かされ、頼もしさを感じます。3月の発表までこうして皆で切磋琢磨しながら、人として団員として育って行く事でしょう。総監修 梅田美千代氏

3年のブランクを経て
演劇活動を再開！

【劇団員のアンケートより】 アンケート内容 → ①この劇団に入団しようと思った理由 ②どんな劇団にしたいか

澤田 彩乃

①将来、人前に出るようなことをやってみようと思ったから。
②年齢、性別関係なくみんな協力して1つの作品を作り上げたい。

徳山 心葉

①視野を広げたり、様々な方向から物事を見られるようにして自分が将来やりたいことに繋げられたいと思ったから。②みんなの個性が活かせる劇団。みんなで試行錯誤しながらその時々で良いやり方を見つけて進んでいる劇団。

北岡 瀧

①前にしたことを活かしたかったから。多忙だからこそその楽しみがあると思ったから。②それぞれの個性が光る劇団にしたいです。

中谷 悠人

①演劇キッズの時に得た台本の暗記力や演技力が現在すぐ役立つと思ってこれらやこれ以上の技術も身につけられたいと思ったから。「子どもNPOセンター」という場所が好きだから。②団員、スタッフ全員が、年齢性別関係なく仲の良い劇団。

吉澤 蘭香

①高校に入学して、人間関係がうまくいかず勉強以外の目標も1つもなく家に引きこもってばかりでした。何か挑戦しようと思い、入団しました。②みんなで一つの目標に向かって一緒に一生懸命に頑張れる劇団にしたいです。

柿原 桃香

①過去に演劇キッズに参加していて、劇団にすごく興味があったから。②劇を見てくれた方はもちろん、劇団員全員が笑顔になれる様な素敵な劇団にしたい。

田中 葵

①高校生のうちにたくさんものを作りたい。②見る側も、やる側も楽しくいられるといいな一っと思っています。

渡辺 夏鈴

①自分に自信をつけるため。自分の夢に近づけるため。②どんな難関もみんなで乗り越えて協力できる劇団にしたいです。



あすか



おいしい！
つめた〜い！



木田児童クラブ サポート事業

8/19 夏休み遠足

大野にあるハックルベリーの森に遠足に行きました。バスから降りてきた子どもたちの手には虫取り網と虫かご。捕る気満々！と思いきや、森を散策中は虫を見つけると「うわっ」と後ずさりする子もいました。そんな子たちも、植物や生き物に触れたり、木や岩に登ったりするうちに、森の中を縦横無尽に駆け回るようになり、友達と楽しく過ごしていました。



森の中を
縦横無尽に
駆け回り！